

## 取扱説明書

はじめに

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前にご要求のものご一致しているかどうか、輸送中の事故などにより部品の脱落や破損がないかご確認ください。
- 加煙試験器を正しく使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

### 安全上のご注意

安全にお取り付けいただくために、下記の **警告** **注意** を必ずお守りください。

<b>警告</b>
内容を守らなかった時に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
<b>注意</b>
内容を守らなかった時に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

	「一般的な注意」事項を示す場合
	「一般的な禁止」事項を示す場合
	「一般的な指示」事項を示す場合

<b>警告</b>	ご使用前ごとに必ず機器の各部に緩み、ヒビ、欠けがないことを確認し、発見された場合は機器の使用を中止してください。使用を続けた場合、脱落などの破損の原因となります。
	ガスポンペは温度が40℃以上となるとところに置かないでください。破裂の原因となります。
	使用済みのガスポンペは温度が40℃以上となるとところに置かないでください。破裂の原因となります。
	支持棒は金属製のため高電圧部および充電部などに近づけないでください。感電の恐れがあります。
	高所で作業するときは必ず安定した足場を確保した後で作業してください。転倒・落下する恐れがあります。
	試験器の清掃は中性洗剤を浸した布を十分に絞って汚れを拭き取ってください。ベンジンやシンナーを使用しないでください。破損の原因となります。

<b>注意</b>	ノズルのつまり等によりガスの噴射が悪くなった場合は、新しいものと交換してください。感知器が作動しにくくなります。
	支持棒を伸長させる際は、連結部を確実にロックしてから作業を行ってください。縮小などによりケガをする恐れがあります。
	感知器の試験時は支持棒を垂直状態で使用してください。斜めで使用すると支持棒が湾曲し破損する恐れがあります。(許容角度：10度)
	本試験器は(一財)日本消防設備安全センターの性能評定品で製造年月より10年以内の校正が必要です。次期校正シールをご確認の上、弊社または購入先へ校正を依頼してください。
	消防設備士、消防設備点検資格者以外の方は使用しないでください。または、有資格者の管理下で作業してください。
	本試験器は煙感知器試験専用です。他の用途に使用しないでください。
	直射日光、風雨のあたるところ、振動のかかるところに保管しないでください。劣化やゆりみの原因となります。

### 梱包箱内の部品

梱包箱の中には次の部品が入っています。  
梱包箱を開けた際にはまず、部品が揃っていることを確認してください。

- 加煙試験器本体 ..... 1台
- 支持棒 ..... 1本
- 収納袋 ..... 1袋
- 取扱説明書(本書) ..... 1部
- ガスポンペ ..... 1本

注) 加煙試験器本体と支持棒は組み付けられた状態で収納袋に納められています。

### 試験器の特徴

本試験器はイオン化式スポット型感知器および光電式スポット型感知器の設置現場における作動試験を行う場合に使用するものです。無色透明ガスのスプレータイプのため、線香タイプに比べて感知器を汚さず、においもほとんどしません。  
主に本体と支持棒から構成されており、本体は主材料にプラスチックを採用し軽量化を図っています。また、ジャバラは小径になっており、感知器のセンサー部のみを覆って試験が可能のため、確認灯の点灯が確認しやすくなっています。支持棒はアルミニウム製で4.5mまで引き延ばして使用できる、5段伸縮のレバーロック方式で任意の位置で固定することが可能です。  
また、本体と支持棒はワンタッチで着脱が可能です。  
注) 高天井などで感知器が狙いにくい場合などは別売のZTJ001をお求めいただき、付け替えてご使用ください。

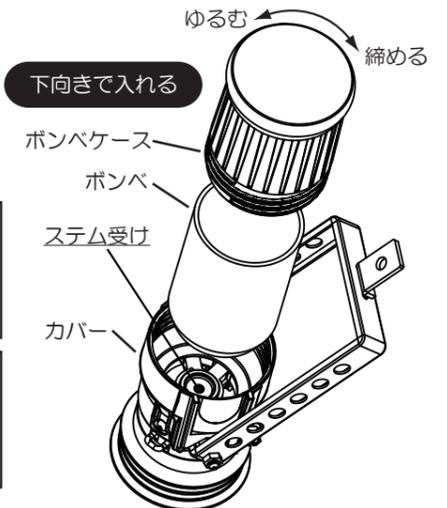
### 試験前の準備

#### ① ガスポンペの取付方法

ポンペケースを反時計回り(底面視)に回してカバーより外します。ジャバラ側を下に向け、ガスポンペのステムを本体の中心にあるステム受け部に挿入し、ポンペケースをかぶせ、時計回りに静止するまで回して取り付けます。

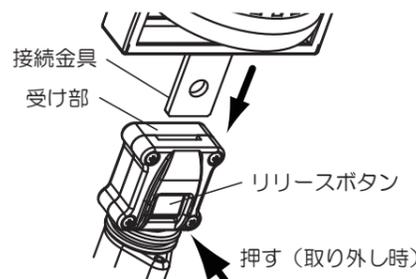
**注意** ガスポンペ取付けの際は必ずステムをステム受け部に合わせてからポンペケースを取り付けてください。ステムと受けがあっていない場合、ガスポンペ内容物の漏れの原因となります。

**注意** ポンペケースは確実に取り付けてください。取り付けがゆるい場合、脱落の原因となります。また、使用中もこまめにゆるみがないことを確認してください。



#### ② 試験器と支持棒取付方法

試験器の接続金具を支持棒の受け部に差し込むことで取り付け完了です。外す際はリリースボタンを押しながら試験器を引き抜いてください。



**警告** 使用前には必ず接続金具にゆるみやヒビなどがないことを確認してください。ゆるみやヒビなどがある場合には、ただちに使用を中止してください。

#### ③ 支持棒の操作方法

感知器の取り付けられている天井の高さに合わせて、支持棒の長さは最適な位置に自由にロックできます。レバーをゆるめて支持棒を伸ばし、希望の位置でレバーを元に戻すことによりロックします。



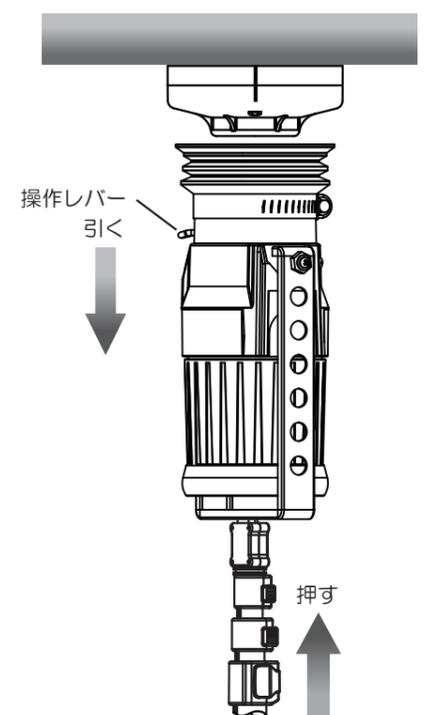
### 試験方法

感知器の作動試験を行う場合、本試験器を右図のように感知器に1秒程度押し付けるか、感知器のセンサー部をジャバラの中に入れて操作レバーを引きます。ノズルよりガスが霧状となって噴射され、ジャバラ内に充填します。ガスを噴射させ、感知器が正常に作動することを確認してください。

**注意** 感知器が正常な場合、1秒程度の噴射量で作動します。連続噴射は行わないでください。感知器、試験器の汚れや、ノズル凍結の原因となります。

**注意** ジャバラは感知器のセンサー部のみを覆う形状となっています。

**ポイント** 低温下などで感知器が作動しにくい場合はジャバラで覆ったまま1秒ごとに少量(1秒以内)噴射する動作を繰り返すことが有効です。(常温下よりも短い噴射時間で繰り返し噴射を行います)これによりジャバラ内の霧状のガスを感知器が作動するのに必要な濃度に保つことができます。



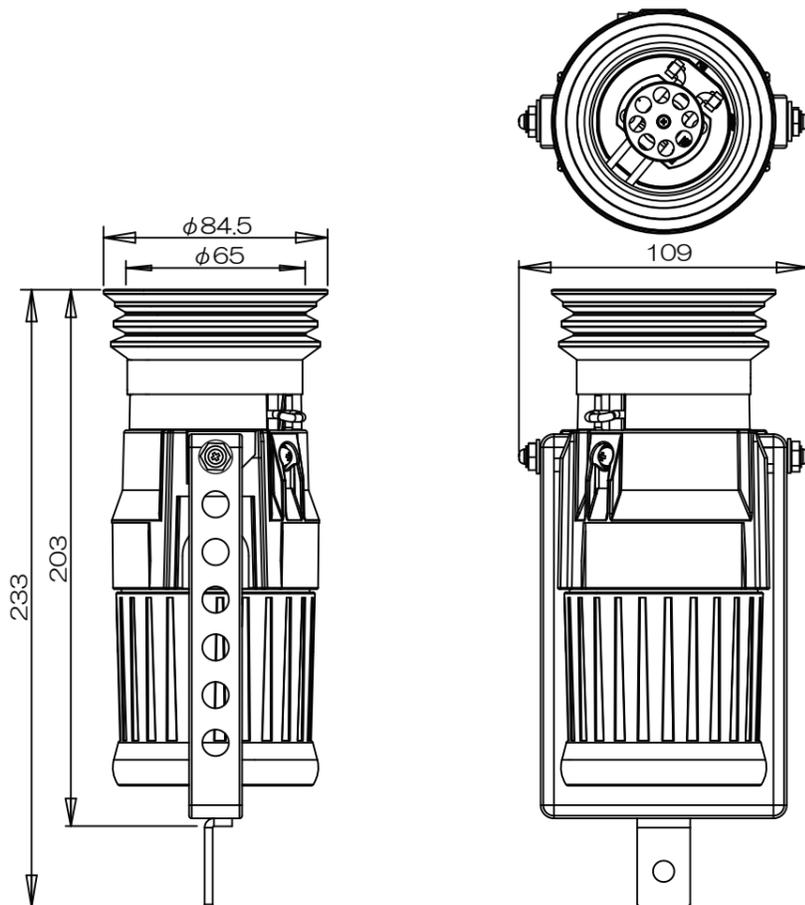
**ポイント** ZTJ001を使用する場合も噴射方法は変わりませんが、噴射後に試験器を上下ポイントさせ、ジャバラを伸縮させてください。ガスが感知器のセンサー部に入りやすくなります。

### 判定基準

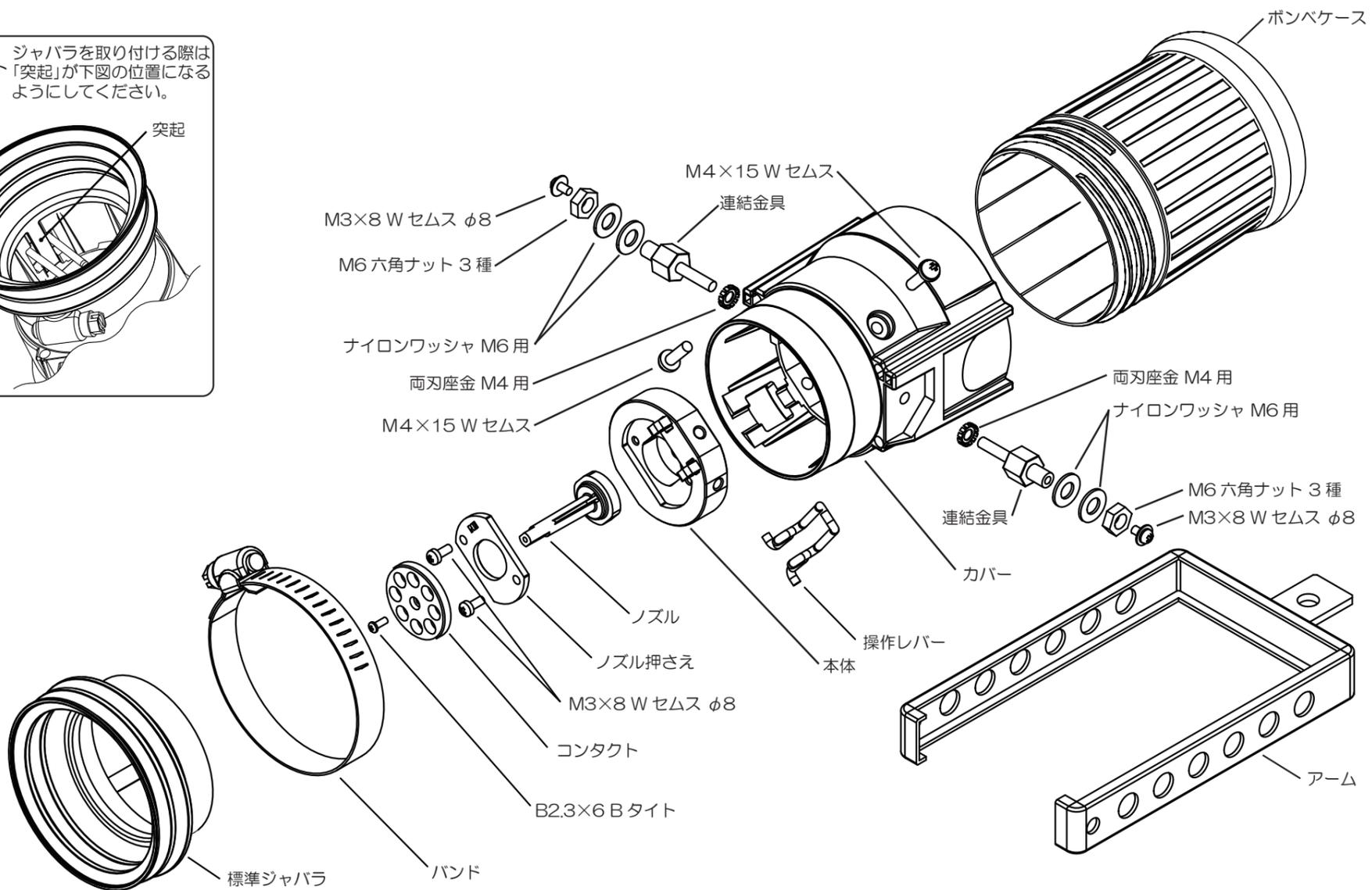
試験開始から感知器が30秒以内に作動することを目安としてください。

## 仕様・外観図

型名	FTGJ001-Z	
性能評定番号	評23-005号	
用途	イオン化式/光電式 スポット感知器の作動試験	
材質	本体	アルミニウム
	カバー	ポリアセタール
	ボンベケース	ポリプロピレン
	標準ジャバラ	シリコン
	アーム	ステンレス
支持棒	アルミニウム製 5段伸縮レバーロック式 収納時：1127mm 伸長時：4482mm	
質量	780(g) (ノンフロンボンベ340g含む)	
	660(g) (LPGボンベ220g含む)	



## 構成図



## NOHMI 能美防災株式会社

本社/〒102-8277 東京都千代田区九段南 4-7-3 TEL (03) 3265-0211

支社/北海道 (011) 746-6911 東北 (022) 221-2695 新潟 (025) 243-8121 丸の内 (03) 3213-1781  
茨城 (029) 239-5280 千葉 (043) 266-0303 北関東 (048) 669-2255 西関東 (042) 643-1520  
横浜 (045) 682-4700 静岡 (054) 340-0013 中部 (052) 589-3241 長野 (026) 227-5521  
北陸 (076) 252-6211 関西 (06) 6330-8661 京都 (075) 694-1192 中国 (082) 510-1125  
岡山 (086) 244-4222 九州 (092) 712-1560  
エンジニアリング本部 / (03) 3343-1816

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

※記載内容は2024年10月現在のものです。